



ゆめぐみ
～数える～
感覚遊び

発達領域：考えることの発達



《いっぱい》

今回のテーマ【数える】ではまず“いっぱい”や“少ない”の感覚から触れていこうと思い、夢組のおもちゃでお馴染みのチェーンのポットン落としでたくさん遊びました！

チェーンのポットン落としは子どもたちの好きな遊びの1つで春から遊び続け、始めは容器の口に入れることに苦戦していた子どもたちも今ではスムーズに入れられるようになりました。そして今回のテーマで改めてもう一度じっくり触れたことで、変化が見られた場面がありました。

始めは手先の発達を考えてチェーンを入れることを促していた遊びですが、運動機能だけではなく思考力なども発達し、今では容器いっぱいになると“もう入らない”ということ子どもたちは認識して“容器のフタを開けてほしい”と保育者に要求します。そして容器のフタを開けて子どもに渡すと容器を逆さにしてチェーンを全て出し、フタを閉めてもう一度チェーンを容器いっぱいになるまで入れることを繰り返していました。また、いっぱいになった容器とは別に空の容器を見つけると今度はそれを手に取ってチェーンを入れ続ける姿も見られました。

子ども自身が「いっぱい」と発言することはありませんでしたが、“いっぱいになった”という感覚に触れることができ、保育者が「いっぱいになったね～」など言葉を掛けて意識することができました。



《1と2》

数字にも少し触れてみました。夢組では今回、簡単で身近な「1と2」に着目しました。

手先が器用な子どもたち！絵本を読んだ後や手遊び歌・ダンスをしたあとは繰り返し同じことをしたい要求で「もう1回！」と上手に指で”1”をつくれます。家庭でも”「もう1回！」の要求があります〜”と声を多く聞きます♪そしてお部屋の変化をよく見ている夢組さん！数字に関するイラストや写真を飾っているのですがそれを見つけて指を差していました。「これは”1”だよ〜！」と声を掛けながら保育者が”1”の指をつくると、子どもたちも真似て”1”の指をつくって見せてくれました。続けて”2”の形をつくってみるものの少し難しく、ピースの形にはなりませんでした。親指と人さし指を出して”2”を表現していました。



《お友だちと一緒に》

保育者と遊んだり一人遊びをしていた子どもたちですが、今では子ども同士の関わりが多く見られるようになりました！特に真似っこをして遊ぶことが多く、平たい積み木を使い携帯電話に見立てて耳に当て、保育者が「もしも〜し」と言葉にすると子どもたちが集まってきます。その時喃語で話して何かを伝えようとする姿が見られ、子ども同士のやり取りがかわいいです♪

こうしたおもちゃを取り入れて遊ぶ他に股のぞきをしたり走ったり、ジャンプをしたり体を動かすことも真似している姿がよく見られます。お友だちがしている行動を見て刺激を受け、一緒にすることで喜びを共感しています。

